

単元名 8 表現を見つめる 一木

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 「愛」, 「正義」などの抽象的な概念を表す言葉に着目し, 詩の中での意味を考えることができる。
 (2) 自分の知識や経験と結び付けて, 作者のものの見方について考えることができる。
 (3) 進んで詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け, 学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとする。

標準的な展開例

11210308_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「木」についての表現を手がかりにして, 「木」の特徴を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 「木」を読み, その特徴を捉えよう。 ○ 詩を通読する。 ○ 詩の中の印象に残った表現を挙げ, どんな印象を受けたか話し合う。 ○ 表現の意味を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第三連の「木は囁いているのだ」「歩いているのだ」「走っているのだ」は, 木のどのような様子を表しているのかを考える。 ○ 作者の考える「愛」や「正義」がどんなものなのかを考える。 <p>2 作者のものの見方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 <p>★ 作者のものの見方について話し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ぼく」が「木」のことを, これほど好ましく思っている理由を考える。 ○ 詩の中で「木」と対比されているものについて考える。 <p>○ 学習の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて意味を説明したり補足したりする。 ・ ノートや学習プリントに書かせ, 発表して学級で共有する。 ・ 擬人法の効果を考えさせる。 <p>【評】 「木」の表現の意味を考えてまとめる活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「木」の特徴を再確認し, 前時のまとめで書いた感想を数人に発表させたり, 紹介したりする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 詩から読み取った作者のものの見方について自分のこれまでの知識や経験と結び付けて考えさせるとよい。 <p>【評】 作者のものの見方を考える活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2学年の国語学習でがんばったことや, 第3学年でがんばりたいことなど, 一年間の学習のまとめができるようにする。

【 備 考 】

第2学年における最終のまとめである。ここでは, 様々な文章に触れながら, 読んだり書いたりする力をより確かなものにするとともに, 人間の様々な営みを見つめさせていく。物語の登場人物は, 置かれた状況により様々な側面を見せる。そうした様々な人間の営みに触れるとともに, 言葉を通して自らを見つめ直し, 人間に対する理解を深めさせたい。

言語活動としては, 一年間の学習のまとめとなる壁新聞を作成して発表する際, 自分の考えを広げるために, 互いの考えについて意見を述べたり助言をしたりする活動がある。この活動は, 今後の学習にも生活にも役立つことだろう。

また, 多感なこの時期の生徒は, 自分や他人を肯定的に見られなくことも多い。批判的に見ることは, 新たな発見や成長につながることであり認めた上で, 自分との関わりから人や物事を見つめ直す経験をさせ, 人間に対する理解を深め, たくましく生きていく力を養いたい。